

# 第8回 食料・環境問題国際シンポジウム

## 「安全な食料の持続的生産」

日時: 2015年11月13日 (金) 13:00 - 16:30

場所: 広島大学生物生産学部C206講義室

急増する世界の人口に対し、十分かつ安全な食料をどのように確保するかは人類に課せられた直近の大きな課題です。人類の生存に欠かせない食料は、農作物、畜産物、天然資源および養殖の水産物として供給されています。

しかしながら、近年の地球温暖化、異常気象、環境汚染によって各地域の伝統的な農作物が栽培に適さなくなり、世界的には農地の砂漠化が進行し、農地や沿岸域の汚染も続いています。私たちはこのような状況のなかで、安全で環境にやさしい手段で持続的な食料生産を行っていく必要があります。このシンポジウムでは、食料の健全で安定的な生産に関する具体的な方策についての情報を共有するとともに、将来に向けた提言やシンポジウム参加国間の技術および教育などの国際協力についても意見交換します。



13:00 開会のご挨拶

13:10 「反芻動物からのメタン放出を抑制する新規な方法」

*Dr. Masahito Oba (カナダ アルバータ大学)*

13:50 「アメリカ先住民のコロンブス（アメリカ到着）以前の園芸法」

*Dr. Noreen Willows (カナダ アルバータ大学)*

14:30 休憩 2014年度研究科長裁量経費による助成研究成果報告

14:50 「グルテンの食品製造・加工における役割およびグルテンフリー食品の開発」

*Dr. Masubon Thongngam (タイ カセサート大学)*

15:30 「ウシに対する代替飼料としてのイネの評価と利用」

小櫃 剛人 教授 (広島大学大学院生物圏科学研究科)

16:10 総合討論

16:25 閉会の辞

◆ このシンポジウムは、5研究科共同セミナーの単位（2回分）になります。

主催：広島大学大学院生物圏科学研究科

共催：広島大学 日本型（発）畜産・酪農技術開発センター

広島大学 日本食の機能開発センター

フェスタ  
国立大学2015

[お問い合わせ] 大学院生物圏科学研究科 佐久川 弘 Tel: 082(424)6504 / E-mail: hsakuga@hiroshima-u.ac.jp